

## 会長メッセージ



東京本社にて撮影

“ 私たちは常に「モノづくり」の原点に忠実に、世界のお客さまに喜んでいただけるクルマづくりに専念しています。”

株主・投資家の皆さまには、当期もトヨタが好業績を達成できたことをご報告するとともに、日頃からのご理解とご支援に厚く御礼を申し上げます。また、当社の発展を支えてくださっているお客さま、サプライヤーをはじめ、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆さまにも、感謝の念をお伝えしたいと思います。

トヨタは今年、創業70周年の節目を迎えました。この間の発展を思い返してみますと、すべては「モノづくり」の原点に忠実に、お客さまに喜んでいただけるクルマづくりに専念してきた賜物であると強く感じています。そもそも「モノづくり」とは、機械や材料を使って単に製品をつくるということではありません。そこには、何度も試行錯誤を繰り返しながら先人たちが辿りついたノウハウや技能、誇りや喜びまで含まれています。「モノづくり」は「人づくり」、この考え方のもとトヨタは人材育成に注力し、長期的な視野で「モノづくり」に取り組んできました。どれだけ会社の規模が大きくなろうとも、この「モノづくり」の精神を次の世代に伝えていくことが私の大きな責務であり、トヨタの発展には不可欠であると考えています。

「上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙げべし」。これはトヨタ自動車の源流となった豊田佐吉の理念を明文化した「豊田綱領」の最初の一文です。トヨタはこの「豊田綱領」を経営の原点とし、その精神を守り抜いてきました。そして今後も「豊田綱領」を行動の規範とし、自社の発展のみならず、自動車産業や国際社会の発展に寄与し続けられる存在になりたいと考えています。また、環境問題や社会貢献活動にも一層積極的に取り組み、いつの時代にも世界中の皆さまから信頼され尊敬される企業となるよう、努力を重ねてまいります。

2007年7月

取締役会長

張 富 士 夫